

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 松園福祉会
施設名	浅口はちまん小規模保育園
報告者（役職）	濱野 康香（リーダー保育士）
住所・連絡先	岡山県浅口市鴨方町鴨方 1542-1
	☎ (0865) 54-0033
	E-mail ashachi@mx2.tamatele.ne.jp

○タイトル（保育計画）

安心して衛生的な環境を整える

○主な助成備品

玩具殺菌乾燥保管庫

1. 保育計画策定の目的

本園は、浅口市の待機児童対策として、市としては初めての小規模保育園を令和4年4月に開園しました。園の特徴として、小規模保育園ならではのきめ細かい保育を行い、その中で子どもたちの可能性、人間性を広げ心豊かに育ててほしいと様々な活動（当園では『まなび』と呼んでいます）を取り入れています。小規模保育園には珍しく園庭は広々としており、さらに隣には系列園の園庭に砂場や遊具があり、戸外活動は十分に行える環境です。また、園庭の一部には畑も整備されています。様々な種類の野菜を植え、日々の成長を観察することができます。

しかし昨年度開園したばかりの園ということもあり、室内には玩具の数がまだまだ足りず、遊びもマンネリ化していましたが、職員で工夫して手作りの玩具を製作し、充実した遊びの機会を設けられるようにしました。また、小さい月齢の子どもが多く、玩具を口に入れることも少なくありません。その際には、こまめに洗ったり消毒したりして対応しています。特にコロナ等の感染症が流行していたということもあり、玩具の消毒は昼・夕とブロックや積み木など一つ一つ丁寧に拭き上げて消毒をしています。どうしても使う玩具の数も多くなり保育の合間をぬって消毒しているのですが、そうすると使える玩具が限られてしまうのが現状です。また、小規模保育園ということもあり職員人数も少ない中を消毒作業に手が取られている実情もあります。

今回、玩具殺菌乾燥保管庫を導入することで、0,1,2歳の異年齢の生活の中でより安全に清潔さを保ち、遊びを行うことができるようになればと考えました。

2. 具体的な実施内容

小規模保育園では、0, 1, 2歳の低年齢児が在籍しています。そのため、抵抗力が弱く、心身の機能が未熟である乳幼児の特性を踏まえ、適切な感染症対策を重要視しています。

日頃から食事スペースや保育スペースの机や床はもちろん、椅子や扉、棚やロッカー等も除菌水を用いて拭きあげ、消毒・清掃はこまめに行っています。玩具や遊具に関しても使用後は水洗いをしたり、消毒をしたりすることを心がけています。しかしながら、様々な感染症が全国的に蔓延していく中で、保育で使用する物全ての殺菌や消毒の必要性が高まってきました。

ですが、今回玩具殺菌乾燥保管庫を導入し、以前は消毒に難しさを感じていた、絵本や手作り玩具等も、紫外線殺菌や乾燥ができ衛生的に使用できるようになりました。晴れた日にしかできなかった日光消毒も、天気や時間を問わず行うことができ、非常に有難いです。また、子どもの午睡中や夕方保育が終わった時間に素早く殺菌することができ、とても便利で保育士の衛生管理作業の効率化にも繋がっています。

玩具殺菌乾燥保管庫を設置するにあたり、職員間で使用方法を確認し、十分な点検を行い、安全な設置場所を検討しました。現在、玩具殺菌乾燥保管庫は職員室に設置し利用しています。子どもが触れることは無いですが、作動中ドアを開けた場合でも瞬時に殺菌灯が消え、ファンモーターの動作も停止するため、安心して使用することができます。

子どもが大好きなぬいぐるみ、フェルトで作った『ひも通し』や牛乳パックを再利用して作った『絵合わせサイコロ』等、洗うことが難しかったり、洗うことのできない玩具を、毎日殺菌消毒することができるようになりました。



3. その成果と評価

玩具殺菌乾燥保管庫が設置されたことによって、今まで以上に衛生管理意識が高まり、大切な子ども達が園生活を安心かつ健康に過ごせるようになりました。

私たちは衛生管理も保育にとってとても重要で欠くことのできない一つの要素だと考えています。しかし、従来のやり方(水洗い、日光消毒、保育士による拭き上げ等)では、非常に時間がかかり、一番大切である『保育』にかける時間が疎かになる不安がありました。

今回、助成していただいた玩具殺菌乾燥保管庫によって、消毒にかかる時間も半分以下になり、子どもたちと関わる時間を今まで以上に作ることができています。また、子どもたちが好きな玩具を、繰り返し衛生的に使えるため遊びに熱中できるようになりました。衛生管理の効率化が、子どもの充実した園生活につながっています。

4. 今後の課題と展望

本園は昨年度開園したばかりの園であり、0, 1, 2 歳児の低年齢の子どもたちが同じ空間で過ごしているため子ども一人ひとりに即した保育を心がけています。集団生活が初めての子どもたちですが、異年齢で過ごしているということもあり、2 歳児の真似をしてみようという、0, 1 歳児の姿が見られたり、2 歳児が自分より小さい友達のお世話をしようとしたり、心温まる姿が見られるようになりました。

日々の活動をより豊かにしていくための保育環境づくりは保育士の役割です。今後も、安心して遊ぶことができるよう清潔な玩具を用意したり、遊びに継続して集中できるよう迅速に消毒をしたりしていきたいと思っています。まだまだ感染症と隣り合わせの日々は続きますが、安心かつ健康で子どもたちの笑顔が溢れる保育園を目指し努力いたします。

この度は助成いただき、ありがとうございました。安心して衛生的な環境を整えられたことを心よりお礼申し上げます。

以上